

第5回日本アルゼンチン親善サッカー大会開催

渡部千秋

日本とアルゼンチンの友好を深めようと、2年毎に開催している小学生児童のサッカー大会が、10月28日に日本アルゼンチン協会とアルゼンチン共和国大使館の共催、三菱商事の後援で、巣鴨の三菱養和会グラウンドで行われました。

10年目を迎える今大会は、日亜修好120周年行事の記念大会として、天候にも恵まれ、参加チームも7チームと過去最大で、選手や父兄、関係者合わせ200名を超える参加者が、一日楽しく、サッカープレーを満喫し、交流を深めることが出来ました。

大会は、茨城県境町長田小学校を中心にボカジュニア日本、埼玉オースティン、三菱養和会等アルゼンチンゆかりの小学生チームが試合を楽しみました。境町長田小は、幕末のペリー来航時海軍武官アルゼンチン人モンテネグロと下総関宿藩士野本作次郎の親交以来、現在に至るまでアルゼンチンとの長い交流の歴史があります。

アルゼンチン共和国ベロー大使からも「日亜修好120周年の行事としても、心に残る素晴らしい大会になった。これからも本サッカー大会をはじめ、両国の素晴らしい関係を深めていきましょう」との挨拶がありました。

本サッカー大会は当協会の主要な国際交流行事として、今後とも強力に推し進める所存です。

(わたなべちあき : 当協会常務理事)



少年プレーヤーに囲まれるベロー大使



長田小学校プレーヤー



全員集合